

公益財団法人 8020 推進財団

平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：佐世保市における糖尿病治療の医科歯科連携システムの構築

2. 申請者名：一般社団法人 佐世保市歯科医師会

代表者 品川 光春

担当者 豊屋 文人

3. 実施組織：一般社団法人 佐世保市歯科医師会

4. 事業の概要：

糖尿病と歯周病の関連性についてはすでに高いエビデンスレベルで報告されているが、糖尿病患者の積極的な歯科受診には結びついていない。

受診率向上を目的とした医科歯科連携システムの構築を行うために歯科医療従事者のスキルアップを目的とした研修会を開催し、糖尿患者歯科治療協力歯科医院名簿を作成する。医科へ糖尿治療における歯科治療の重要性を啓発し、糖尿病医療連携体制に組み込んでもらい、広域な糖尿病治療における医科歯科連携体制を構築する。

5. 事業の内容：

平成 29 年 2 月 20 日に糖尿病専門医である医療法人白十字会佐世保中央病院糖尿病センター長の松本一成先生による研修会を開催。参加者歯科医、30 名、歯科衛生士 23 名。

平成 29 年 3 月 8 日に歯周病専門医である福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野吉永泰周准教授による研修会を開催。参加者歯科医師、29 名、歯科衛生士 28 名。

両研修会修了歯科医院を対象に、糖尿病治療協力歯科医院名簿を作成、42 歯科医院を登録した。

研修会講師で佐世保中央病院糖尿病センター長である松本一成先生に、既存の佐世保中央病院を中心とした糖尿病地域連携システムに糖尿病治療協力歯科医院を組み込んでもらえるよう要請した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

糖尿病治療協力歯科医院名簿登録歯科医院は 42 医院で、佐世保市全歯科医院の 4 分の 1 程度で十分な数とは言えない。これは研修会の参加者が少なかったためで、日本糖尿病協会の認定歯科医師に登録しても、糖尿病患者の受診が伸び悩んでいるなど、日本糖尿病協会が推奨する歯科医師登録医制度が機能していないのも一因と考えられる。

また、医科の中でも、糖尿病治療における連携が十分取れていない状況なので、初めから佐世保市全域での医科歯科連携は難しい。そこで、すでに連携が行われている佐世保中央病院を中心とした連携システムに参加して、医科との連携を強化しながら、吉永先生の講演にも出てきたように、エビデンスを含めた糖尿病患者の歯周病管理の重要性を医師、歯科医師に訴えていく必要があると思われる。